



うさぎとかめの通信 上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 107周年
令和5年5月31日 第182号

HPのQRコード



「思い→体験→表現」は、**幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本!**

☆伝える力(言葉)を支える☆

「子どもに言葉の力がないと感じている。何も言われなくても物が買えるなど、便利な世の中で子どもが言葉の感性に触れる機会が少ない状況である。子どもに言葉の感性に触れる経験が必要ではないか。」これは、文科省の言語力育成協力者会議(H19)での意見の一部です。確かに、インターネットで買い物もでき、SNSでは短い単語で話が済んでしまう状況があります。

高田幼稚園では、ボランティアの方の協力を得て「読み聞かせの会」を行っています。今年度も5月23日に1回目の会を実施できました。年少のとも組にとっては、初めての読み聞かせでした。ボランティアの方から歌も交えて楽しいお話の読み聞かせをしていただきました。年中、年長のうめ組、まつ組の子どもたちは、一緒にお話を聞きました。みんなお話を聞くことが大好きな様子で、お話を引き込まれているようでした。



園での「読み聞かせの会」は、ほぼ毎月設定されています。また、降園前には、各部屋で担任の先生からの読み聞かせも実施しています。読み聞かせを聞くことによって、子どもたちは、言葉の響きリズム、新しい言葉や表現に触ることができます。絵本や紙芝居などのお話と自分の経験を結びつけたり、お話を聞きながら想像を膨らませたりと、豊かなイメージをもつことができるようになります。

毎週金曜日には、子どもたちは園から絵本を借りて帰ります。ご家庭での読み聞かせもきっと楽しみにしていることと思います。様々な場面で、たくさんの言葉に触れるようにしていきましょう。

☆もうすぐ運動会☆ …もっと、上手になりたい！…

6月3日(土)は、運動会です。年少のとも組は、入園2ヶ月後の運動会になります。遊びの中で、楽しみながら玉入れなどの競技の練習をしてきました。まつ組の子どもたちは、雨の日は遊戯室で伝統の竹太鼓の練習をしています。太鼓も力強い音になってきました。リズムや振り付けもあってきて、練習するたびに、自信を高めています。しかし、もっと上手になりたい、もっとみんなで練習したいという子どもたち。「今度から、給食の後にも練習すればいいんじゃない」「2回練習しようよ」と、声を出し、みんなで決めて練習を進めています。みんなでやる楽しさを味わっているようです。協同性も育ってきていますね。